

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 4月 5日

事業所名 音楽療育おとゆいキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	90%	10%	子どもの居場所が確保できるように配置や環境を整えています	さらにスペースを確保するために、利用の時間差や時短利用を徹底していくことを目標にします
	2	職員の配置数は適切である	90%	0%	できるだけ1~2人に職員1人対応になるようにしています	職員の支援スキルを高めていきたいです。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	80%	20%	時間差や療育空間を工夫しています。	さらにスペースを確保するために、利用の時間差や時短利用を徹底していくことを目標にします
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	行っています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	80%	0%	ホームページで公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%	行っていません。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	確保しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	90%	10%	発達検査での所見を使用して状況把握を行っています。	当事業所独自の評価基準を使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	できるだけチームで行うようにしています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	工夫しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	80%	0%	支援しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	50%	30%	常勤職員とは行っています。	非常勤職員とはケース会議や機会を見つけて共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	80%	20%	記録をとるよう指導しています。	記録を取る時間を確保するように、職員一人一人のスキルを向上させる必要があると思います。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	90%	0%	行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	80%	0%	行っています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	90%	0%	児童発達管理責任者が参画しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	90%	0%	適切に行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	0%	医療的ケア児童は利用しています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	70%	0%	保育所や幼稚園と連携して相互理解に努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	50%	0%	保護者と話し合い、情報を共有しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	90%	0%	連携して助言を受けたり、要請があれば研修にも参画しています	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	50%	コロナ禍もあり、とくに機会を作っていません。	保護者や利用児童が、交流の必要性を求めておられません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	0%	和泉市の地域自立支援協議会に子ども部会がありません。	要請があれば参画して参ります
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	共通理解をもっています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	30%	30%		ペアレントトレーニングは行っていませんが、当事業所での様子を報告し家庭での関わり方の支援を行っています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	80%	0%	契約時に丁寧に説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	80%	0%	保護者から要請があったり、気になる子どもさんについては、助言や支援を行っています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	80%	0%	昨年度は年1回オンライン保護者会を開催しました。	今年度は年数回、オンライン含めて開催予定です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	80%	0%	苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	90%	0%	月1回、会報を発行しています。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	十分に注意しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	配慮しています	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	50%	30%	ボランティアの方に来てもらって交流をしています。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	80%	0%	各種マニュアルは玄関に貼りだしています。	詳細の理解を図るために、会議等で説明を行っていきたいと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	80%	0%	自衛避難訓練を年1回開催して訓練を行っています	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	70%	0%	年1回、研修をおこなっています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	50%	20%	保護者とは話し合っています。	話し合った内容は、会議など機会があるごとに職員に説明しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	80%	0%	保護者から説明を聞いて対応しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	60%	10%	ヒヤリハット記録、事故記録を記載しています。	事例集も作成していきたいと思います。